

平成17年基準 消費者物価指数

東京都区部 平成20年1月分(中旬速報値)

1 概況

- ~~~~~
- (1) 総合指数は平成17年を100として100.1となり、前月比は0.4%の下落。前年同月比は0.2%の上昇となった。
 - (2) 生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前月比は0.4%の下落。前年同月比は0.4%の上昇となった。
 - (3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.2となり、前月比は0.6%の下落。前年同月と同水準となった。
- ~~~~~

図1 総合指数の動き

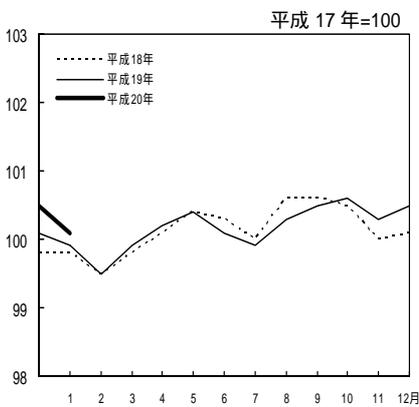


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

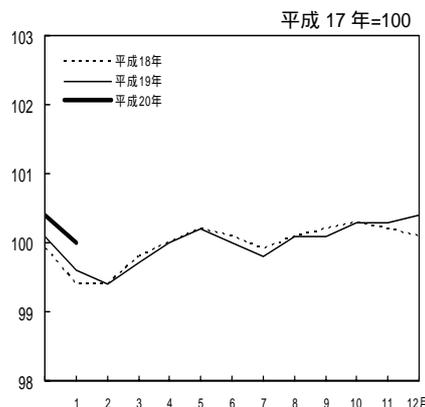


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き

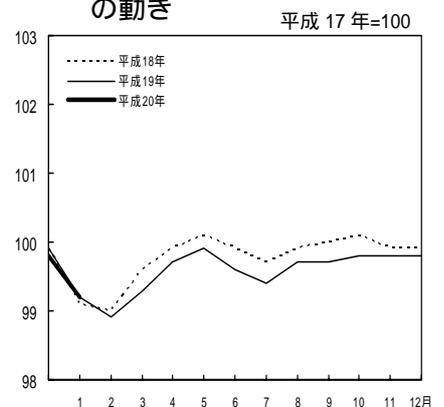


表1 総合、生鮮食品を除く総合、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合の前月比及び前年同月比

		平成19年												20年 (%)
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
総合	前月比	0.2	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.2	0.1	0.3	0.2	0.4
	前年同月比	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	0.3	0.4	0.2
生鮮食品を除く総合	前月比	0.5	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2	0.0	0.1	0.4
	前年同月比	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.4
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	前月比	0.7	0.3	0.4	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.6
	前年同月比	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.0

注) はマイナスを表す(以下同じ)。

2 東京都区部

2 前月からの動き

表2 10大費目指数，前月比及び寄与度

(平成17年=100)

指 数	総合			食料		住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	総合	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合*	食料	生鮮食品									
100.1	100.1	100.0	99.2	100.9	103.2	100.2	105.0	95.3	96.6	99.5	100.6	102.0	96.8	101.8
前月比 (%)	0.4	0.4	0.6	0.5	2.0	0.0	1.0	0.1	7.2	0.0	0.1	0.0	1.1	0.1
寄与度	0.40	0.38	0.43	0.12	0.08	0.00	0.06	0.00	0.37	0.00	0.01	0.00	0.12	0.01

* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合 (以下同じ)

総合指数の前月比が0.4%の下落となった内訳を寄与度で見ると、被服及び履物、教養娯楽などの下落が要因となっている。

なお、食料、光熱・水道などは上昇した。

[主な内訳]	10大費目	中分類，前月比(寄与度)	品目，前月比(寄与度)
	被服及び履物	衣料 - 10.9%(- 0.25)	…… 婦人スラックス(冬物) - 16.8%(- 0.04) など
	教養娯楽	教養娯楽サービス - 2.0%(- 0.13)	…… 外国パック旅行 - 10.8%(- 0.09) など
	食料	生鮮果物 8.1%(0.07)	…… みかん 13.7%(0.03) ， りんご 5.7%(0.01) など
	光熱・水道	電気代 1.3%(0.03)	

3 前年同月との比較

表3 10大費目の前年同月比及び寄与度

前年同月比 (%)	総合			食料		住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	総合	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合*	食料	生鮮食品									
(0.4)	(0.4)	(0.3)	(0.1)	(0.7)	(1.8)	(0.2)	(1.6)	(2.5)	(0.7)	(0.1)	(1.4)	(1.2)	(0.8)	(0.5)
0.2	0.2	0.4	0.0	0.0	3.3	0.0	1.5	2.3	0.4	0.2	1.4	1.2	0.2	0.5
(0.40)	(0.40)	(0.29)	(0.07)	(0.17)	(0.07)	(0.05)	(0.09)	(0.07)	(0.03)	(0.00)	(0.14)	(0.06)	(0.09)	(0.03)
0.20	0.20	0.38	0.00	0.00	0.14	0.00	0.09	0.06	0.02	0.01	0.14	0.06	0.02	0.03

注) ()は、前月の前年同月比及び寄与度

総合指数の前年同月比が0.2%の上昇となった内訳を寄与度で見ると、交通・通信などの上昇が要因となっている。

[主な内訳]	10大費目	中分類，前年同月比(寄与度)	品目，前年同月比(寄与度)
	交通・通信	自動車等関係費 4.2%(0.17)	…… ガソリン 17.6%(0.16) など

参考1 財・サービス分類の前年同月比及び寄与度

	総合	財・サービス											
		財	生鮮食品 を除く財	農畜 産物	水産 物	工業 製品	うち耐久 消費財	電気・都市 ガス・水道	出版物	サービス	公共 サービス	一般 サービス	うち 外食
前年 同月比 (%)	(0.4)	(0.3)	(0.1)	(1.6)	(0.2)	(6.7)	(1.3)	(0.1)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	(0.2)
	0.2	0.0	0.4	1.8	0.3	6.3	1.3	0.0	0.4	0.5	0.3	0.6	0.3
寄与度	(0.40)	(0.13)	(0.04)	(0.11)	(0.06)	(0.22)	(0.06)	(0.00)	(0.23)	(0.05)	(0.18)	(0.02)	(0.01)
	0.20	0.00	0.15	0.13	0.09	0.20	0.06	0.00	0.23	0.07	0.14	0.04	0.01

注) ()は、前月の前年同月比及び寄与度

参考2 前月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前月比(%)		中 分 類	前月比(%)	
1 生鮮果物	8.1		1 衣料	10.9	
2 ガス代	1.5		2 他の被服類	6.8	
3 家事雑貨	1.4		3 シャツ・セーター・下着類	6.5	
4 電気代	1.3		4 室内装備品	4.4	
5 理美容用品	1.2		5 教養娯楽サービス	2.0	

参考3 前年同月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前年同月比(%)		中 分 類	前年同月比(%)	
1 他の光熱	21.9		1 教養娯楽用耐久財	16.6	
2 肉類	4.7		2 生鮮果物	8.9	
3 自動車等関係費	4.2		3 室内装備品	7.6	
4 補習教育	3.2		4 家庭用耐久財	5.1	
5 油脂・調味料	2.9		5 他の被服類	4.8	

参考4 総合指数の前年同月比に対する寄与の大きかった項目(中分類)

上 昇				下 落			
中 分 類	寄与度	前年同月比(%)		中 分 類	寄与度	前年同月比(%)	
1 自動車等関係費	0.17	4.2		1 教養娯楽用耐久財	0.13	16.6	
2 教養娯楽サービス	0.10	1.5		2 生鮮果物	0.09	8.9	
3 肉類	0.08	4.7		3 通信	0.07	2.3	
4 交通	0.05	1.5		4 家庭用耐久財	0.04	5.1	
5 ガス代	0.04	2.1		4 生鮮魚介	0.04	3.2	

前年同月比の上昇幅の縮小に寄与した主な項目(中分類) 注1)

	前月	今月
生鮮野菜	11.7% (0.19)	-0.1% (0.00)

(別掲)

石油製品 注2)	16.8% (0.18)	17.1% (0.18)
エネルギー 注3)	4.7% (0.25)	4.7% (0.25)

注1) 数値は、前年同月比及び括弧内は寄与度。主要品目については12ページの追加参考資料を参照。

注2) 石油製品：プロパンガス、灯油、ガソリン

注3) エネルギー：電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

< 追加参考資料 > 消費者物価指数（東京都区部）
 主要品目の前年同月比及び寄与度（エネルギー・耐久消費財など）

- ・生鮮食品を除く総合の前年同月比は前月に比べ0.1ポイント拡大。平成10年4月以来、9年9か月ぶりの上昇幅。

表1 エネルギー構成品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成19年12月		平成20年1月		
		前年同月比(%)	寄与度	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
エネルギー	506	4.7	0.25	4.7	0.25	0.00
電気代	247	1.3	0.03	1.3	0.03	0.00
都市ガス代	159	2.0	0.03	2.0	0.03	0.00
石油製品	100	16.8	0.18	17.1	0.18	0.00
プロパンガス	7	4.8	0.00	5.7	0.00	0.00
灯油	9	21.8	0.02	21.9	0.02	0.00
ガソリン	84	17.3	0.16	17.6	0.16	0.00

表2 耐久消費財の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成19年12月		平成20年1月		
		前年同月比(%)	寄与度	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
家庭用耐久財	91	-6.7	-0.06	-5.1	-0.04	0.01
教養娯楽用耐久財	102	-17.0	-0.13	-16.6	-0.13	0.01
テレビ（薄型）	24	-19.5	-0.03	-18.6	-0.03	0.00
パソコン（デスクトップ型）	12	-20.4	-0.02	-20.6	-0.02	0.00
パソコン（ノート型）	19	-29.4	-0.04	-29.0	-0.04	0.00
カメラ	10	-31.8	-0.02	-30.6	-0.02	0.00

注）テレビ（薄型）のウエイトは中間年見直し後のウエイトであり、平成20年1月の寄与度はこれを用いて算出した。なお、平成19年12月の寄与度は19年12月までのウエイト(20)を用いて算出した。

表3 交通・通信の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成19年12月		平成20年1月		
		前年同月比(%)	寄与度	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
航空運賃	35	4.8	0.02	10.1	0.03	0.02
タクシー代	31	4.4	0.01	4.4	0.01	0.00
移動電話通信料	166	-3.9	-0.06	-4.0	-0.06	0.00

< 寄与度及び寄与度差について >

寄与度は総合指数の変化率に対してどの程度寄与したかを示したものである。

寄与度は実数ウエイトを使用し、次の計算式によって算出している。

$$\text{品目Aの寄与度} = \frac{\left(\frac{\text{当期の品目Aの指数}}{\text{前期の品目Aの指数}} - 1 \right) \times \frac{\text{品目Aのウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

各品目の寄与度は小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで表章している。そのため、足し上げてても上位類の寄与度とは必ずしも一致しない。

寄与度差は小数第4位まで持った寄与度により計算し、小数第3位を四捨五入して小数第2位まで表章している。そのため、当月と前月の寄与度を差し引いても寄与度差と一致しないことがある。